

2016 年度 京都大学 前期 世界史

I トルコ系の人々のイスラーム化

出題範囲	中世の政治史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	25 分
傾向と対策	9 世紀から 12 世紀におけるトルコ系の人々のイスラーム化と、それと同時に進行したトルコ化についての問題。受験世界史で頻出の分野なので、この範囲の勉強は怠らないようにしましょう。本問は時代の範囲が限定されているため比較的書きやすい。ある 1 つの民族に焦点を絞って世界史を見るという勉強も効果的である。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1 マスにつき最大 2 文字」書くことを前提として計算した

例 800 年の場合

80	0	年
8	00	年

1200 年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEAN の場合

AS	EA	N
----	----	---

解答例

9 世紀にウイグルが滅亡するまでモンゴル高原にはトルコ系の人々がいたが、ウイグル滅亡後、トルコ人は中央アジアに定住し、西トルキスタンにイスラーム王朝のサーマーン朝が建国されるとその影響を受けてイスラーム教に改宗した。10 世紀には初のトルコ系イスラーム王朝のカラハン朝が建国され、東西トルキスタンを統一した。トルコ人は軍人奴隷のマムルークとしてイスラーム世界の軍事力の中心となった。サーマーン朝のマムルークはガズナ朝を建国してインドに侵入し、トルコ系のセルジューク朝はブワイフ朝をバグダードから追い出し、中央アジアでホラズム朝などのトルコ系王朝が繁栄した。(275 字)

設問の要求

字数 300字以内

主題 「トルコ系の人々のイスラーム化」の過程についての9世紀から12世紀に至る時期の様相

条件 問題文に示された2つのキーワードを用いる

解説

(1)問題文の読み取り

トルコ系の人々のイスラーム化の過程について記述する問題である。指定語句に「マムルーク」と「カラハン朝」があるが、どちらもトルコ系の人々にかかわることなので、指定語句の使い方には困らないだろう。

(2)イスラーム化の過程に関する出来事を整理する

- 9世紀 **ウイグル滅亡**
サーマーン朝建国
- 10世紀 **カラハン朝成立**
ガズナ朝成立
- 11世紀 **セルジューク朝、バグダードに入城**
ホラズム朝成立

(3)それぞれの出来事について詳しくみていく

①ウイグル滅亡

ウイグルはマニ教を国教としたトルコ系の民族の国である。ウイグル滅亡後、もともとモンゴル高原に住んでいたウイグル人が中央アジアに移住した。これによって中央アジアのオアシス地域のトルコ化が進んだ。

②サーマーン朝建国

9世紀後半に西トルキスタンでイラン系イスラーム王朝のサーマーン朝が成立すると、**中央アジアにいたトルコ人のイスラーム教への改宗が進んだ**。トルコ人は軍事技術に優れていたため、イスラーム勢力の中央アジアへの進出に伴い、アッバース朝などのイスラーム王朝が**トルコ人を軍人奴隸マムルークとして用いるようになった**。

③カラハン朝成立

10世紀に初のトルコ系イスラーム王朝である**カラハン朝**が成立した。カラハン朝はサーマーン朝を倒し東西トルキスタンを支配した。このことで**さらにトルコ人のイスラーム化が進んだ**。

④ガズナ朝成立

10世紀にサーマーン朝のマムルークがアフガニスタンにトルコ系イスラーム王朝であるガズナ朝を建てた。**ガズナ朝はインドに侵入を繰り返した**。

⑤セルジューク朝、バグダードに入城

11世紀にトルコ系イスラーム王朝のセルジューク朝が中央アジアに興った。セルジューク朝のトゥグリル＝ベクは**バグダードに入城**してブワイフ朝を倒し、アッバース朝カリフからスルタンの称号を得て政治的実権を握

った。セルジューク朝は西アジアに進出し、トルコ系イスラーム王朝の勢力圏が拡大していった。

⑥ホラズム朝成立

11 世紀にセルジューク朝のマムルークがアム川下流域にトルコ系のイスラーム王朝のホラズム朝を建てた。ホラズム朝はセルジューク朝からイランを奪い、ゴール朝を滅ぼしてアフガニスタンを征服するなど、中央アジアで繁栄した。

(今村優太, 的場光紀, 町田佳奈子)

2016年度 京都大学 前期 世界史

Ⅱ 中国の歴代王朝と「党」

出題範囲	古代～現代の政治・文化史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	20分
傾向と対策	今回の問題では禅譲がキーワードになっている。頻繁に登場する用語ではないだけに、概念の把握が難しいかもしれない。空欄 a の解説に禅譲について記したので、確認しておくとういだろう。基本的に政治史の問題が多いが、随所で文化史の問題が登場する。「○○の歴史」を考えたときに、まず思い浮かぶのは政治史だろうが、文化史などの知識も把握しておく必要がある。特に空欄補充問題では、空欄の周辺のキーワードを「探す」必要があるため、どこがキーワードかも含め、解説で確認してほしい。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

解答

A

a 司馬炎 b 拓跋 c 東魏

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| (1) 陰陽家 | (2) 太平道 |
| (3) 燕 | (4) (ア)司馬遷 (イ)クシャーナ朝 |
| (5) 王莽 | (6) (ア)羯 (イ)仏図澄 |
| (7) 宋 | |
| (8) (ア)上京竜泉府 (イ)猛安・謀克 (ウ)ヌルハチ | |

B

d 趙匡胤 e 東林 f 国民党

- | | |
|-------------------|------------------|
| (9) 党錮の禁 | (10) 殿試 |
| (11) 財政再建, 軍事力強化 | (12) 科挙の廃止 |
| (13) 民権の伸長, 民生の安定 | (14) 戊戌の変法 |
| (15) 鉄道事業 | (16) 二十一カ条の要求 |
| (17) 西安 | (18) プロレタリア文化大革命 |

A 難易度：★★★★☆

解答

a 司馬炎 b 拓跋 c 東魏

解説

a 魏の禅譲を受けて晋を建国し、西晋の武帝とよばれたのは、司馬炎。司馬炎は280年に呉を滅ぼし、中国を統一して、戸調式や占田・課田法を施行した。290年から八王の乱が勃発して混乱を招き、最終的には五胡の侵入をゆるす結果となり、匈奴に滅ぼされた。

※禅譲…中国において、平和的に政権を譲り受ける王朝交代形式。これに対して武力で政権を奪取することをほうばつという。ただし、実際には新王朝が武力で政権を奪取しても、禅譲の形式を装うことも多かった。禅譲は、この大問を通じたキーワードとなっている。

b 『魏書』において扱われているのは、鮮卑拓跋部が建国した王朝である北魏。一般的には「拓跋氏」と表記されるが、「〇〇部」と問われたとしても混乱しないようにしよう。拓跋氏（部）は鮮卑の1部族で、386年に拓跋珪（道武帝）が北魏を建国した。

c 勿吉は北魏・東魏に29回朝貢し、北齊は東魏の禅譲を受けて建国した。「勿吉が北魏・cに29回朝貢」から、すぐに解答を導くのは難しい。しかし、禅譲（空欄a）の解説※を参照）の意味がわかれば、「高洋がcの禅譲を受けて北齊を建国」から、答えを導き出せるだろう。言い換えれば、「北齊に滅ぼされた中国王朝は何か」という極めてシンプルな問題になる。また、北齊が高洋（東魏の建国者・高歡の子）によって建国された、というマイナーな知識があれば、自身の解答により確信がもてただろう。

(1) 難易度：★★★★☆

解答

陰陽家

解説

地理認識を発展させ「大九州説」を唱えた鄒衍は、諸子百家の陰陽家に属す。陰陽家は、天文曆学を基礎として、天体の運行による現象と人間生活の関係を説いた学派。鄒衍は、陰陽説（自然や社会現象を陰・陽の対立する2原理の盛衰によって説く）と五行説（万物の変化を木・水・土・金・火の要素の循環によって説く）を集大成した人物。戦国時代に両説は結びついた。

(2) 難易度：★★★★☆

解答

太平道

解説

後漢末に黄巾の乱を起こした張角が創唱した宗教結社は太平道である。太平道は、2世紀後半（後漢末）に張角が組織した。呪文等による病氣治療を説き、五斗米道とともに道教の源流となった。黄巾の乱は後漢の滅亡を決定的にした農民反乱で、華北一帯に波及した。

(3) 難易度：★★★★☆

解答

燕

解説

戦国時代に遊牧民の侵攻に備え、遼東郡を設置したのは燕である。まず「遼東郡」という用語に遭遇したことがある受験生はまれだろう。よって単純な一問一答問題ではないが、手のつけようのない難問ではない。ヒントから解答を推測することは可能だ。まず「戦国時代」といえば、「戦国の七雄」がのさばっている時代である。その「七雄」の中で、遼東半島近辺を支配していたのは燕。よって、この問題は「戦国時代」「遼東」をキーワードとし、「戦国時代」から時代背景（中国が分割されている状態および七雄が支配している各領域）を、「遼東」から遼東半島を想起できれば、正解にたどり着ける。

(4) 難易度：★★★★☆

解答

(ア)司馬遷 (イ)クシャーナ朝

解説

- (ア) 紀伝体の創始者は前漢の歴史家である司馬遷で、その著作は『史記』。紀伝体とは、本紀（帝王の年代記）と列伝（重要人物の伝記や外国記事）を中心とする歴史書の形式で、中国正史形式の標準。『史記』に始まり、『漢書』で完成したとされている。
- (イ) 1～3世紀に中央アジアから北インドを支配し、『三国志』本紀において「大月氏」と称されたのは、クシャーナ朝。ここで注意が必要なのは、「大月氏」は必ずしも「クシャーナ朝」のことを指すわけではない点である。大月氏は B.C.3 世紀以降、中央アジアで活躍した遊牧民でありアム川上流で大月氏国（B.C.140 年～1 世紀）を建国した。さらにはバクトリア地方に移り、B.C.1 世紀頃には大夏（トハラ）を征服した。しかし、ここで問われているのは「1～3 世紀」に「中央アジアから北インドを支配」していた王だ。よって、大月氏の支配下から自立した王朝・クシャーナ朝と考えるのが妥当だろう。クシャーナ朝は 2 世紀のカニシカ王時代に全盛期となり、3 世紀にはササン朝による攻撃で衰退した。

(5)難易度：★★★★☆

解答

王莽

解説

前漢の禪譲を受けて新しい王朝（新）を開いたのは王莽。ここでも本問のキーワードである禪譲（空欄 a の解説※を参照）が登場する。王莽は外戚として実権を握り、幼少の平帝を毒殺したのち 8 年に新を建国した。周の時代を理想とする復古主義を強行したが、貧農・豪族の反感を買った。

(6) 難易度：★★★★☆

解答

(ア)羯 (イ)仏図澄

解説

(ア) 五胡のうち「匈奴の別部」とされた民族は、羯。五胡は北方系（匈奴，羯，鮮卑）とチベット系（氐，羌）の2種類に大別できる。「匈奴の別部」とあるので、同じ北方系であるという検討はつくが、それで1つに絞られないあたりがややこしい。羯は匈奴の別派であるのに対し、鮮卑は（初めは匈奴に服属していたとしても）匈奴から派生したという形跡が残っていない。よって、正解は羯と推測するのが妥当だという結論に至るが、ここまで五胡の知識をもっている人はそういないため、難問である。

(イ) 龜茲クチヤに生まれ、4世紀前半に石勒の帰依を受けた仏僧は、**仏図澄**ぶつとちよう。「ブドチンガ」でも同じ人物を指すが、「漢字で記せ」という条件を満たさず誤りになるため、注意が必要。あまり多くのヒントが与えられていないが、自身のもっている知識を駆使して正解にたどり着きたい。「4世紀前半に帰依を受けている」ことから、魏晋南北朝時代の仏僧であることがわかる。仏図澄は310年に洛陽に来て、混乱している華北において仏教を広め、仏教の民間への浸透に大きく貢献した人物である。同じ龜茲出身の仏僧として**鳩摩羅什**くまらじゆうも挙げられるが、彼は5世紀初頭に中国にやってきた。

(7) 難易度：★★★★☆

解答

宋

解説

劉裕が東晋の禅譲を受けて開いた王朝は、**宋**。ここでも禅譲（空欄 a の解説※を参照）というキーワードが登場する。南朝において、東晋の次に宋が成立した。劉裕が建国したが、北魏の太武帝の侵入で衰退し、8代で滅亡した。

(8) 難易度：★★★★☆

解答

(ア)上京竜泉府 (イ)猛安・謀克 (ウ)ヌルハチ

解説

(ア) 渤海の国都は、**上京竜泉府**。上京竜泉府は長安をモデルに造営された。

(イ) 金が女真人に対して採用した行政・軍事制度は、**猛安・謀克**。金は遼（契丹・キタイ）と同様に二重統治体制を採用していたことでも知られているが、各制度とその対象者を対応させておく必要がある。猛安・謀克は、女真人や契丹人に適用され、州県制は漢人・渤海人などの農耕民を対象にしていた。猛安・謀克は、300戸を1謀克、10謀克を1猛安とする行政組織で、1謀克から約100人の兵を徴集する軍事制度も兼ねていた。

(ウ) **ヌルハチ**は1616年に後金を建国し、国号をアイシンとした。満州文字をつくり、八旗を創始したのもヌルハチである。

B 難易度：★★★★☆

解答

d 趙匡胤 e 東林 f 国民党

解説

- d 10 世紀に建国された王朝の建国者で太祖ともよばれるのは、趙匡胤（建国した王朝は宋）。「官吏登用試験に皇帝が試験官となる出題を加えた」こともヒントとなる（この内容に関しては、問(10)で詳しい解説を加える）。
- e 17 世紀初めに設立され、「党人」として弾圧された政治グループ（東林派）の基礎となったのは、東林書院。東林書院は、1604 年に顧憲成らが設立した明末の学問所（本文中の「後年の王朝」と対応）。朱子学的見解から官僚批判・政治批判を発していたが、1625 年に強制閉鎖された。ちなみに「弾圧した側の宦官にくみした官僚たちは、史書で『閹党』（宦官党）と呼ばれている」という記述は、非東林派に関するものである。
- f 共和国樹立を目指した結社は、国民党と改名し、中国史上初の国会議員選挙に勝利した。国民党は、1912 年に宋教仁らが中国同盟会を中心に結成した。本文に「時の共和国臨時大総統の暴力の前に、政権掌握を阻まれた」とあるが、この共和国臨時大総統は袁世凱を指す。国民党は袁世凱の弾圧を受け、宋教仁は暗殺され、第二革命も失敗に終わり、結成翌年には解散させられた。国民党のもととなった中国同盟会は、1905 年に孫文らが東京で結成した革命団体。三民主義・四大綱領を基本方針とし、三民主義の 1 つである「民権の伸張」は「人民主権に基づく共和制国家樹立」のことを指し、本文中でヒントとなっている箇所と対応する。

(9) 難易度：★★★★☆

解答

党錮の禁

解説

後漢時代の 2 度（166 年と 169 年）にわたる「党人」に対する弾圧は「党錮の禁」と称されている。党錮の禁は、宦官の専横に対抗しようとした、儒教を奉ずる官僚知識人グループ（党人）が、反対に公職追放に処せられた事件。その後宦官の専横は一層強まった。

(10) 難易度：★★★★☆

解答

殿試

解説

皇帝が試験官となる官吏登用試験は殿試である。殿試は宋（10 世紀に d（太祖）が打ち立てた王朝）の時代から始まった科挙の最終試験の形態で、趙匡胤が創設した。殿試に上位で合格した者は、皇帝の門下生として忠誠を誓い、高級官僚への道が与えられた。このことにより、皇帝独裁体制が強化された。

(11) 難易度：★★★★☆

解答

財政再建，軍事力強化

解説

この「諸政策」は、王安石の新法を指す。北宋時代に行われたこと、この政策をめぐって2つの完了グループが対立したことから判断しよう。王安石の新法は、**宋の軍事強化、財政再建**を目指した**富国強兵**の諸政策。この諸政策のうちおもに取り上げられるのは、【青苗法】、【均輸法】、【市易法】、【募役法】、〈保甲法〉、〈保馬法〉の6つ（【】は富国政策、〈〉は強兵政策）。富国政策はおもに農民・中小商人の保護を目的とした。ちなみに、新法の是非をめぐった「党争」は、**新法党と旧法党の対立**のことを指す。新法の内容が地主・富商や特権官僚などの利益を抑制するものだったため、保守的な旧法党はこの諸政策に対して強く反対した。その結果、実施上の不徹底・不手際も相まって新法は成功には至らなかった。

(12) 難易度：★★★★☆

解答

科挙の廃止

解説

20世紀初めの中国からの留学生の急増を招いた**1905年**の中国政府の政策決定は、**科挙の廃止**。義和団事件後の立憲君主制国家に向けた改革である**光緒新政**のもとで、1905年に科挙の廃止が断行された。代わりに北京などに官吏養成を主目的とする学校が設立され、中央官吏になるためには海外留学経験が求められるようになった。それ以前に行われた洋務運動後にも、先進国への留学は多く実施され、特に**日本**が留学先として選ばれることが多かった。それらの留学生は民族資本家の子弟であることが多く、反清的気風をもっており、革命運動を推進する中心であった。

(13) 難易度：★★★★☆

解答

民権の伸長，民生の安定

解説

「近代的な政治結社」（**中国同盟会**）がまとめた3つの政治主張（**三民主義**）は、漢民族の独立（少数民族による支配の打破）以外に**民権の伸張**と**民生の安定**で構成されていた。「三民主義」が思い浮かべばこの問題は解けるだろう。中国同盟会の成立と「民権の伸張」の内容説明は空欄 の解説を参照。三民主義は、孫文が提唱した中国革命の基本理念のことで、解答の2つに加え、**民族の独立**がある。民族の独立は、異民族支配の打倒を目指すもので、民生の安定は、地主・資本家による利益独占の排除、それによる社会問題の解決を目指すものであった。

(14) 難易度：★★★★☆

解答

戊戌の変法

解説

19 世紀末に中国が対外戦争に敗れた際に知識人によって主張された、立憲君主制導入を中心とする制度改革は**戊戌の変法**である。19 世紀の中国の対外戦争はいくつかあるが、「19 世紀末」の対外戦争は**日清戦争**（1894～95 年）と考えて問題ない。戊戌の変法（1898 年）は光緒帝に登用された**康有為**・**梁啓超**らの変法派が進めたもので、立憲君主制の樹立を目指した政治改革である。学校制度の創設や、行政改革などを発令した。同年には西太后ら保守派によるクーデタである**戊戌の政変**が起こり、戊戌の変法は終了した。

(15) 難易度：★★★★☆

解答

鉄道事業

解説

政府が**鉄道事業を国有化**しようとしたことが中国のさまざまな階層の反発を招き、**中華民国**成立の背景の 1 つとなった。清は広州～漢口間、四川～漢口間の民営鉄道を国有化しようとしたが、民族資本家や有力者の激しい反対を受けた。こうした背景のもとで大衆的基盤にたつ**利権回収運動**が展開され、**辛亥革命**を経て**孫文**を**臨時大總統**とする中華民国が成立した。

(16) 難易度：★★★★☆

解答

二十一カ条の要求

解説

「共和国臨時大總統」は**袁世凱**を指す。袁世凱は対内的には政党を解散させて**独裁権力を握る**一方、対外的には近隣国家による大規模な**権益拡大**の諸要求である、**二十一カ条の要求**を承認した（1915 年）。二十一カ条の要求は中国の権益拡大を図る**日本**（「近隣国家」）が提示し、**山東省の旧ドイツ権益の譲渡**や、日本人の政治・財政顧問の招へいなども含んだ。袁世凱政府の抵抗などにより内容は当初の予定から変更はされたものの、中国の民族主義運動の高揚をもたらした。ちなみに、「対内的には政党を解散させて」とあるが、袁世凱は 1912 年に組織された国民党を弾圧し、翌年の 10 月に解散させた。

(17) 難易度：★★★★☆

解答

西安

解説

「二つの政党の協力」のうち 2 回目のものとは第 2 次国共合作のことである。これが成立する契機になったのは、1930 年代半ばの中国の事件は**西安事件**。西安事件は西安で国民党代表・**蔣介石**が監禁された事件で、**張学**

良と楊虎城は対共産党戦の視察に訪れた蒋介石に、内戦停止と抗日を要求した。蒋介石は、この要求を一旦拒否したが、共産党の周恩来の説得に応じ、抗日民族統一戦線を結成した。第1次国共合作とは違い、両党は対等な立場での政策協定の形態を採用した。第1次国共合作は、中国共産党員が個人として国民党に加入する「党内合作」の形態を採用していたことも思い出そう。

(18) 難易度：★★★★☆

解答

プロレタリア文化大革命

解説

1960年代に中華人民共和国で党の最高指導者が自らの党組織に対する攻撃を呼びかけて始まったのは、プロレタリア文化大革命。この党の最高指導者は毛沢東である。「自らの党組織に対する攻撃を呼びかけ」の箇所がわかりづらくなってはいるが、1960年代に起こった中国の大規模な政治運動は1966年に始まったプロレタリア文化大革命に絞られるだろう。この「革命」の最大の目標は、社会主義社会における階級闘争の貫徹で、「党内の資本主義の道に進む一握りの実権派」の打倒が求められた。実権派として批判されたのは、当時政権中枢にいた劉少奇や鄧小平らであった。実権派は「資本主義の道を歩む者」という意味で「走資派」ともよばれた。

(重森理瑛, 的場光紀, 今村優太)

2016年度 京都大学 前期 世界史

Ⅳ イギリスとプロイセンの啓蒙思想

出題範囲	近代の文化・政治・社会史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	30分
傾向と対策	基本的な知識を覚えていることが難関大の論述問題を解くうえでの大前提である。本問ではイギリスの啓蒙思想に関する記述がやや難しいかもしれないが、古典派経済学の確立といった知識は文化史の勉強をしっかりしておけば、論述問題で出されても書くことができたはずである。本問では基本的な知識が身につけていることを前提に、イギリスとプロイセンの比較を踏まえて記述することが求められており、普段から論述の練習で構成力を磨いておくことが重要である。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

解答例

イギリスでは、啓蒙思想は商工業で台頭した市民階層に受容され、工業化の潮流の中、アダム＝スミスを中心とする古典派経済学の発達に寄与し、イギリスの自由主義に論拠をあたえ、産業革命の素地を形成した。啓蒙主義の特徴である合理性は、コーヒーハウスを社交場とする市民間に公論を形成させ議会政治が成熟した。旧来の土地貴族が強いプロイセンでは、啓蒙思想は商工業の発達と市民階層の形成を推進する君主層に受容され、フリードリヒ2世などの啓蒙専制君主の誕生に寄与した。君主層は啓蒙思想を盾に上からの近代化を推進し、宗教寛容令の発布や文化活動の奨励を行ったが、官僚に土地貴族を登用し、社会構造の変革は進まなかった。(295字)

設問の要求

字数 300字以内

主題 イギリス、プロイセンにおける啓蒙思想の受容とその影響

解説

まず、本問ではイギリスとプロイセンの比較を念頭に置くことに注意したい。

問題文では「理性を重視し、古い権威や偏見を批判する啓蒙思想」がどのような影響をおよぼしたかについて論じることが求められているので、解説にあたって啓蒙思想について補足する。啓蒙思想とは理性絶対の立場から、今までの伝統（具体的には今までの身分制や習慣、権威、思想）への批判を合理主義にもとづいて行おうとする考え方である。啓蒙は思想運動であると同時に、現実の社会を変革しようとする実学であり、さらには世界のいっさいを解釈し、合理的に説明しようという先端総合化学でもあった。啓蒙思想とはあらゆる物事を合理的に説明しようという知の営みであった。

具体的に設問の要求に答えていく。プロイセンのほうは啓蒙思想との関連性がより直接的に教科書に記述されているため、なじみやすいと思われるのでプロイセンから先に解説する。

【啓蒙思想を受容した人々】

最も代表的な**啓蒙専制君主**の1人としてプロイセンの**フリードリヒ2世**が挙げられる。16世紀半ば、西欧での価格革命を機に、東欧は西欧への穀物輸出地域となった。農奴から現物の地代を徴収する東欧の領主は、西欧への穀物輸出の対価として西欧の銀を得て強大化した。結果として東欧では農奴制が残存し、市民階層の形成は進まず、商工業も未発達であった。主権国家体制の確立期においてプロイセンでは軍備増強などの国力強化が急務であり、**君主は自ら啓蒙思想を受容し、ユンカー（土地貴族）を統治の基盤としつつ、農工業の保護育成や市民階層の育成といった富国強兵策に努めた**。これがいわゆる「上からの近代化」である。

【どのような影響を政治や社会に及ぼしたか】

政治に対する影響については、啓蒙専制君主の誕生における思想的背景になったということが書ければ十分である。社会に対する影響については啓蒙専制改革が社会に与えた影響を書く。イギリスとの対比も踏まえ、**ユンカー（土地貴族）が官僚制の中核を担うことで社会構造の変化が進まず、農奴制が存続した**ことが書ければよりよい。

次に、イギリスについて解説する。

【啓蒙思想を受容した人々】

イギリスで啓蒙思想を受容した人々とは、**市民階層**である。ロンドンは中世からフランドルへの**羊毛輸出**で栄え、15世紀には**毛織物業**が発達した。これら商工業の隆盛に伴い市民階層の形成が進んだ。これを背景に17世紀以降、ピューリタン革命・名誉革命といった市民革命が起こって王権は衰退し、首相ウォルポールの辞職を機に18世紀には責任内閣制が確立した。イギリスでは、市民による議会が主権をもっていたため、啓蒙思想は市民階層に受容されたものの政治批判には向かわず、むしろ**啓蒙思想は合理的に政治を分析し、実際の社会を変革しようという考えを生み出し、コーヒーハウスなどの市民の社交場での公論の形成に寄与して議会政治を成熟さ**

せた。

【どのような影響を政治や社会に及ぼしたか】

上にも述べたように公論の形成とそれに伴う議会政治の成熟が挙げられる。また、理性を絶対視する啓蒙思想は合理性を追求し実学の発展を促した。啓蒙思想は市民の生産活動を奨励する思想的な柱となり、**経済学**、特に**アダム＝スミス**を中心とする**古典派経済学の発達に寄与**した。こうした実学は**イギリスの自由主義に論拠を与え**、18世紀後半の**産業革命の素地を形成すること**となった。

(井小路瑞木, 佐野来実, 町田佳奈子)

- (19) ニクソン政権がドルと金の交換を停止したため、固定相場制は変動相場制へと移行した。
- (20) 国内では個人崇拜を否定し、スターリン批判を行った。対外的には資本主義諸国との平和共存路線を明確にした。
- (21) ダマンスキー島（別解：珍宝島） (22) 李登輝
- (23) 先進国から資本や技術を導入して、工業を重視する輸出志向型という特徴がある。

A 難易度：★★★★☆

解答

- a サラミス b 北海 c リューベック

解説

- a B.C.480 年にギリシア人が三段櫂船を用いてペルシア艦隊に勝利した戦いは**サラミスの海戦**。この時ギリシアの主力となったのはテμισトクレスに率いられたアテネ海軍である。この翌年のプラタイアの戦いでギリシアの勝利が確定した。
- b フランドルの北には**北海**があり、この地域には毛織物生産で栄えたガンやブリュージュなどの都市がある。また、北海・バルト海を中心として成立した北ヨーロッパ商業圏は 14 世紀頃には**ハンザ同盟**に支配されていた。フランドルやハンザ同盟といった用語から解答を導き出せばよい。
- c **ハンザ同盟**は**リューベック**を盟主として 13 世紀半ばに成立した。**ロンドン・ブリュージュ・ベルゲン・ノヴゴロド**に在外四大商館を置き、最盛期には加盟市が 100 を超えた。

(1) 難易度：★★★★☆

解答

カルタゴ

解説

フェニキア人が北アフリカに建設した代表的な植民市は**カルタゴ**。フェニキア人はほかにも、地中海東海岸のシドン・ティルスなど地中海の沿岸の各地に植民市を建設した。カルタゴはティルス市が建設した植民市で、B.C.6 世紀頃には西地中海の交易網を握り、繁栄を誇った。しかし、その後 3 回にわたる**ポエニ戦争**（B.C.264～B.C.146 年）で西地中海の覇権をめぐるローマとの争いに敗れ、消滅した。

(2) 難易度：★★★★☆

解答

ウェルギリウス

解説

オクタウィアヌス（アウグストゥス）の時代に活躍し、ローマの建国伝説をテーマとする一大叙事詩（『**アエネイス**』）を書いた人物は**ウェルギリウス**。ウェルギリウス（B.C.70～B.C.19 年）は古代ローマ最大の詩人で、

『アエネイス』のほかに『農耕詩』を著した。

(3) 難易度：★★★★☆

解答

後ウマイヤ朝

解説

8世紀半ば以降に、コルドバを首都として、アンダルス（スペインのアンダルシア地方を中心とするイスラームの勢力圏のイベリア半島一帯のこと）を支配していた王朝は後ウマイヤ朝。後ウマイヤ朝（756～1031年）は756年にコルドバを首都として、ウマイヤ家の一族が成立直後のアッバース朝から自立する形で、イベリア半島に建てられた。10世紀にはアブド=アッラフマーン3世の下でカリフを名乗り、最盛期を誇った。

(4) 難易度：★★★★☆

解答

両シチリア王国

解説

両シチリア王国（1130～1860年）は、ノルマン人のルジューロ2世がシチリア島と南イタリアをあわせて建てた国。イスラーム勢力の支配下にあったシチリア島とビザンツ帝国の支配下にあった南イタリアを含んでいたため、イスラーム文化とビザンツのギリシア・ローマ・東方文化が融合する地となった。

(5) 難易度：★★★★☆

解答

ヨハネ騎士団、ドイツ騎士団（別解：テンプル騎士団）

解説

聖地の守備や巡礼者の保護のために結成され、十字軍運動を支えた宗教騎士団としては、ドイツ騎士団・ヨハネ騎士団・テンプル騎士団の三大宗教騎士団が知られる。

(6) 難易度：★★★★☆

解答

デンマーク王国

解説

エーレスンド（ズント）海峡はデンマークとスウェーデンの国境の海峡で、北海とバルト海を結ぶ海峡。15世紀にこの海峡の両側を支配していた王国は、その女王マルグレーテの主導によって1397年にスウェーデン・ノルウェーとカルマル同盟を結び、同君連合となったデンマーク王国。この支配は1523年にスウェーデンが独立するまで続いた。

B

(7) 難易度：★★★★☆

解答

シオニズム

解説

ディアスポラはギリシア語で「離散（分散）」といった意味で、パレスチナ地方を追われたユダヤ人が各地に離散したことと関連づけられる。19 世紀末頃から各地に散ったユダヤ人の間で行われたパレスチナでの民族的郷土の建設を求める運動をシオニズムという。ドレフュス事件に際して反ユダヤ主義に衝撃を受けたヘルツルが提唱した。

(8) 難易度：★★★★☆

解答

イサベル（別解：イザベラ）

解説

コロンブスがサンサルバドル島に到達したのは 1492 年。この年、スペインではイサベルとフェルナンド 5 世がレコンキスタを完了し、カトリック教国であることを確定させるためにユダヤ人に対してカトリックへの改宗か国外退去を迫った。よって、この時のスペインの女王はイサベルである。

(9) 難易度：★★★★☆

解答

アムステルダム

解説

1568～71 年の反乱と同じ時期に起こった、スペイン王を悩ませる大規模な反乱とは、オランダ独立戦争（1568～1609 年）のこと。その後、オランダは独立を達成し、1648 年のウェストファリア条約でその独立が国際的に承認された。このオランダの中心都市で、アントウェルペンに代わって 17 世紀に国際金融の中心となった都市は、アムステルダム。

(10) 難易度：★★★★☆

解答例

メアリ 1 世がカトリックを復活させたから。

設問の要求

主題 カトリック教徒が 16 世紀半ばの一時期、イギリスで復権した理由

解説

国教会体制が敷かれたイギリスにおいて、16 世紀半ばの一時期、カトリックが復権した理由は、メアリ 1 世（在位 1553～58 年）がカトリックを復活させたから。1558 年に即位した次の女王エリザベス 1 世は、1559 年の統一法によってプロテスタントの国教会を再建し、確立させた。

(11) 難易度：★★★★☆

解答

ホーエンツォレルン家

解説

1685年にプロイセンを統治していたのは、**ホーエンツォレルン家**。1616年にホーエンツォレルン家のブランデンブルク選帝侯が、プロイセン公国を併合してプロイセンという領邦を成立させた。このあと、1701年にはスペイン継承戦争に際して神聖ローマ皇帝側を助け、プロイセンは王国の称号を得た。

(12) 難易度：★★★★☆

解答

ハノーヴァー朝

解説

ステュアート朝はアン女王の死によって断絶し、その後、1714年にドイツからステュアート家の血を引くジョージ1世がやってきて新たな王朝**ハノーヴァー朝**を開いた。なお、第一次世界大戦に際して敵国ドイツ風の名称を避けるため、ハノーヴァー朝は1917年にウィンザー朝と改称された。

(13) 難易度：★★★★☆

解答

オーストリア

解説

反革命運動を支援する外国に対抗して、1792年4月にフランス革命政権が最初に宣戦した国は**オーストリア**。この後、革命が自国へ波及することを憂慮したイギリス首相のピットがオーストリアやプロイセンなどに呼びかけ、1793年に**第1回対仏大同盟**を結成してフランスとの戦争に臨んだ。

(14) 難易度：★★★★☆

解答

綿花、サトウキビ（別解：タバコ）

解説

アフリカから運ばれてきた黒人が、輸送先のプランテーションで栽培に従事したおもな作物は、**綿花**、**サトウキビ**、**タバコ**。15世紀半ばにポルトガルが大西洋での黒人奴隷貿易を始め、17世紀から18世紀にかけて行われた**大西洋三角貿易**では、ヨーロッパ商人によって大量の黒人奴隷がアメリカ大陸や西インド諸島に運ばれ、プランテーションや鉱山で酷使された。そのプランテーションではヨーロッパへの輸出用商品作物として、綿花やサトウキビやタバコが栽培された。

(15) 難易度：★★★★☆

解答

アレクサンドル2世

解説

1881年に暗殺された人物は、1861年に農奴解放令を發布し、自由主義的改革を進めていたアレクサンドル2世。ポグロムは19世紀以降にロシアで盛んになった、ユダヤ人に対する集団暴行や虐殺を意味するロシア語である。

(16) 難易度：★★★★☆

解答

イタリア

解説

1880年代にエリトリアを植民地化したある国とはイタリアのこと。帝国主義国による世界分割が進む1885年に、イタリアはエチオピア北部の紅海沿岸地域をエチオピア本国から分離させ、エリトリアとして占領した。

C

(17) 難易度：★★★★☆

解答

シューマン

解説

フランスの外相シューマンは1950年にシューマン＝プランを提唱し、これがECSC（ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体）結成の契機となった。ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体は、フランス・西ドイツ・ベネルクス三国・イタリアの6国の間で1952年に発足した。

(18) 難易度：★★★★☆

解答

パリ

解説

ベトナム戦争において、ベトナムからのアメリカ軍撤退を定めた和平協定はパリ和平協定であり、この和平協定はその名前のとおりパリで締結された。アメリカのニクソン大統領は1973年1月にこの協定を締結し、南ベトナムからの米軍の撤退を実現させたが、翌年ウォーターゲート事件の発覚によって大統領を辞任した。

(19) 難易度：★★★★☆

解答例

ニクソン政権がドルと金の交換を停止したため、固定相場制は変動相場制へと移行した。

設問の要求

主題 1971～73年にブレトン・ウッズ体制に生じた変化

解説

まず、1971～73年にブレトン・ウッズ体制に生じた変化とは、**固定相場制が変動相場制へと移行したこと**。そしてこれに関連するニクソン政権の政策とは、**ドルと金の交換を停止したこと**。この2つの要素を組み合わせると簡潔に述べればよい。ブレトン・ウッズ体制では**ドルが国際経済の基軸通貨**であったが、アメリカの貿易赤字もあってドルの信用が低下し、ドル危機が起きていた。ニクソンはドル危機への対策としてドルと金の交換を停止したのである。

(20) 難易度：★★★★☆**解答例**

国内では個人崇拜を否定し、スターリン批判を行った。対外的には資本主義諸国との平和共存路線を明確にした。

設問の要求

主題 1956年にフルシチョフが打ち出した新たな路線

条件 国内政策と対外政策の両面から説明する

解説

1956年にソ連のフルシチョフが打ち出した新たな政治路線について国内政策と対外政策の両面から説明させる問題。国内政策としては、ソ連共産党第20回大会にて**個人崇拜を否定し、スターリン批判を行った**。対外政策としては、**西側の資本主義諸国との平和共存路線を明確にし、その一環としてコミンフォルムを解散した**。これらを簡潔にまとめて、解答を作成すればよい。

(21) 難易度：★★★★☆**解答**

ダマンスキー島（別解：**珍宝島**）

解説

1969年3月に、ソ連と中国の間で領有権をめぐる大規模な戦闘が起こったのは、**ダマンスキー（珍宝）島**においてである。1960～70年代にかけてソ連・中国間で国境紛争が多発し、特に1969年にダマンスキー島で起きた武力衝突では、死者が出るほどの大規模な戦闘が起こった。

(22) 難易度：★★★★☆**解答**

李登輝

解説

1988年に台湾総統に就任して、民主化を推進した人物は**李登輝**。李登輝は国民党の政治家で、国民政府が台湾へと移転してきた後に中国大陸から移住してきた「外省人」ではない、台湾生まれの「本省人」として初の総統である。

(23) 難易度：★★★★☆

解答例

先進国から資本や技術を導入して、工業を重視する輸出志向型という特徴がある。

設問の要求

主題 新興工業経済地域（NIES）の主要な国々が 1960～70 年代に急速な経済発展を実現した際に採用した経済政策の特徴

解説

新興工業経済地域（NIES）の主要な国々は、**先進国から資本や技術を導入して、工業を重視する輸出志向型**の経済政策を採用し、1960～70年代に急速な経済発展を実現した。新興工業経済地域において多くみられた開発独裁については、経済政策ではなく政治体制にかかわる要素なので書かなくてもよい。

（高荷圭太郎，佐野来実，町田佳奈子）